

地域医療 連携室だより



年頭のご挨拶

副院長（地域医療連携室長）
石井 勉



「猛暑のあとは、厳冬・雪が多い」との言い伝えどおり、今年は冬らしい冬を迎えております。感染症は、多種多様の流行がみられ従来とは異なった様相を呈しております。しかしその中でも、当院機能としての慢性疾患患者さんには日常生活と感染症対策の間でバランスのとれた予防対策を熟慮し過ごしていただくよう対応しております。

当院の重点診療機能であります脳神経内科による神経難病診療、小児科の重症心身障害児（者）診療の患者様方々のために、引き続き感染対策を講じながら開かれた診療を全職員一丸となって進めてゆきます。そして外来入院診療のみならず、患者様ご家族の負担軽減のための当院独自のレスパイト入院にも十分対応してゆく所存です。従来からの検査受託についても、通常に対応ができるよう余裕をもった体制を整えております。

本年も、納得の医療で当地区での地域医療に貢献できますよう職員一丸となって努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。



●職員紹介 新しいメンバーが増えました☆

令和7年2月より地域医療連携室へ異動となりました山口リン子と申します。

私は、これまで病棟勤務をしておりました。神経難病の診断と治療、薬剤調整やリハビリテーション入院、在宅療養されている方々のレスパイト入院、終末期を迎える患者様・ご家族様におかれましては、ご希望に沿った援助を提供できるように取り組んできました。

これからは、病棟での経験を活かし地域医療連携室の一員として病院の理念でもある「納得」の医療で地域や社会に貢献できるよう、活動していきたいと思っております。異動して間もないため、不慣れな部分も多々ありますが、ご利用いただく皆様にお役に立てるよう努力いたしますので、よろしくお願いいたします。

●地域医療連携室 看護師 山口リン子

外来での在宅療養支援

福島病院は「納得」の医療で地域や社会に貢献するという病院理念のもと、重症心身障がい児（者）と脳神経内科患者を中心とした医療を提供しています。その中で外来は病気や障害を持ちながらも、住み慣れた地域・自宅での生活を支援する場です。患者様の日常生活に困りごとはないか、不便になったことはないか、不安や心配事はないか、そのような事を抱える皆様に寄り添いたいと思っております。外来受診の機会を通して「あれっお薬の飲み忘れが増えているな」「足の筋力が低下してつまずきやすくなったかも」「介護をしているご家族が休めていないみたい」など患者様のご様子を観察しております。これらの事は、私たち外来看護師と地域医療連携室のスタッフで情報共有し、患者様にどのような在宅療養支援をしていくことがより良いか多職種で力を合わせて考えています。このようなカンファレンスを定例で月に2回行い、必要時には早急

な情報共有の場を設け、利用できる在宅サービスの再検討や地域の訪問看護師、ケアマネージャー等のサービス提供者との連携に繋げています。地域医療連携室と協働し患者様やご家族の皆様在宅療養生活が安定し、より自分らしい生活が送れますよう今後もチーム一丸となってサポートしていきます。



●外来 看護師長 小山 美紀子

喀痰吸引等研修（第三号） 実地研修について



当院では、令和4年より喀痰吸引等研修（第三号）実地研修を行っています。入院中の在宅サービス調整中に実地研修を行うため退院後すぐ、障害福祉サービスが介入でき、入退院支援の充実に繋げることができています。人工呼吸器管理の方の喀痰吸引、胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養など医療的ケアが高い方も、障害福祉サービスを利用しながら、安全に在宅生活を継続することができています。地域のニーズに応えるためにも今後も、地域包括ケアシステムの充実を図ることで患者・家族の尊厳を守り、安心して在宅生活が継続できるためのサポートを行ってまいります。

●地域医療連携室 副看護師長 穴沢 和子

●喀痰吸引等研修（第三号）実地研修に関するお問い合わせ

国立病院機構福島病院 地域医療連携室
TEL.0248-75-2279 FAX.0248-75-2569

福島病院は『にっこりほっと』に取り組んでいます😊



当院では、スタッフを対象に「にっこりほっと」の投稿募集を行っております。「にっこりほっと」とは、患者さんやスタッフ間での関わりの中で『にっこり、ほっこり』した出来事を投稿するものです。虐待防止の取り組みとして始めました。問題ばかりに目を向けず、心温まるエピソードを共有することで、より良い支援を広げていくことが狙いです。取り組みを始めて約3年になりますが、当院では様々な「にっこりほっと」が投稿されています。

投稿から

話すことができず、背中への反り返りが強い患者様。食事の前も落ち着かず、反り返りに合わせてタオルを丸めて入れ、体を支えるようにすると落ち着きが見られました。「如何ですか」と問うと、じっと目を見つめて笑顔で返してくださいました。通じ合えたような気がして嬉しかったです。

投稿から

先生がお部屋に来たことが分かれると患者様が「はい！はい！」と声をかけて、ご飯全部食べたよ！とアピールしていました。先生に褒められると満面の笑みで嬉しそうにしている姿を見てその場にいたスタッフも笑顔になり、温かい雰囲気になりました。

投稿は、掲示板等で共有しており、「にっこりほっと」を見たスタッフからもコメントが寄せられています。今後も、「にっこりほっと」の輪を広げていきたいと思っております。

●療育指導室 児童指導員 福田 萌々



越冬する福島病院の動植物

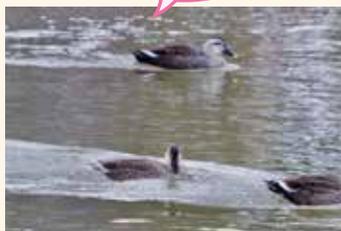


多肉植物

さるのこしかけ



カルガモ



■ 編集後記

カルガモの写真撮影時、スピードを上げる時は前傾していることに気づきました。
(カルガモの写真真中：体を水中に沈めスピードを上げて泳ぐ様子)

普段は横を通り過ぎるだけですが、レンズを通してカモの新しい発見もでき、寒かったのですが楽しかったです😊 さるのこしかけも順調に育っており安心しました♪



外来担当医表

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【令和7年3月1日現在】

区 分	月	火	水	木	金
内 科 1	安 田 千 尋	安 田 千 尋	安 田 千 尋		
内 科 2	佐 藤 由 紀 夫 (第1・3)				
内 視 鏡 検 査				安 田 千 尋	
脳 神 経 内 科	伊 藤 英 一	杉 浦 嘉 泰	伊 藤 英 一		杉 浦 嘉 泰
小 児 科	福 島 医 大	石 井 勉 氏 家 二 郎	石 井 勉		河 原 田 勉
専 門 外 来 (発達小児クリニック)		石 井 勉 氏 家 二 郎			河 原 田 勉
専 門 外 来 (小児神経外来)			石 井 希 代 子		
専 門 外 来 (小児循環器外来)			桃 井 伸 緒 (第2)		
小 児 専 門 外 来	予 防 接 種 (午後)				
整 形 外 科	古 川 浩 三 郎		古 川 浩 三 郎		古 川 浩 三 郎
小 児 外 科				清 水 裕 史	
脳 神 経 外 科		福 島 医 大 (第2)			

- 完全予約制となります。予めご予約をお願いいたします。
- 受付時間は午前8:30～11:00までです。急患については随時受付いたします。外来担当医は、都合により変更となる場合がありますので、ご了承下さい。
- 外来担当医表は令和7年3月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認下さい。

独立行政法人国立病院機構

福島病院地域医療連携室

- 新規契約、ご相談、ご予約、お問い合わせについては

地域医療連携室直通

TEL 0248-75-2279 FAX 0248-75-2569

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地 TEL 0248-75-2131 (代表)

